

第29回教育講演会 さかなクンの一魚一会 ～せまい水槽を飛び出して広い海へ出てみよう～

11月10日(木)、東京海洋大学客員教授のさかなクンによる教育講演会が行われた。書道部と箏曲部によるオープニングパフォーマンスで幕が開き、さかなクンが語る『一魚一会(いちぎょいちえ)』にまつわるエピソードに、生徒たちは熱心に耳を傾けていた。



さかなクン プロフィール

魚の情報や正しい知識、美味しい食べ方や環境問題を多くの人たちと考えるために全国各地で講演を行う。2010年には絶滅したと思われていたクニマスの生息確認に貢献した。海洋に関する普及・啓発活動の功績が認められ「海洋立国推進功労者」として内閣総理大臣賞を受賞した。2015年には東京海洋大学名誉博士に就任。



私はさかなクンの自叙伝を読んだことがあり、講演会に来てくださるのを知った時はとても嬉しかったです。自叙伝と講演会から得たのは、自分の好きなことを貫く大切さです。私の夢は看護師になることや世界に出ること、趣味を極めることです。さかなクンの好きなものを追い続ける姿勢に勇気づけられました。
(二二の一貫二 今野優)



努力を続ければ、夢は実現できると今回の講演会で学びました。これからは、難しいことに対しても、諦めずに挑戦しようと思えます。また、今のさかなクンがあるのは、家族など周りの方々の存在が大きかったのだと感じました。私も周りの応援してくる人たちに感謝を忘れずに頑張りたいです。
(一〇七 町田 姫菜)

さかなクンは「一魚一会」の思いをしっかりと心に留めていて、一匹の魚との出会いからたくさんの知識を得たり、感動をしたりしていると感じました。私も人との出会いだけでなく、さとの出会いだけなく、さまざまなものとの出会いも大切にしようと思いました。そうすることで広い視野を持ち、多くのことを学べると思います。
(二一〇 佐々木 礁)

十月三日(月)から五日(水)にかけて、高校一年生の校外研修が実施された。生徒たちは浅草周辺を散策した後、浅草園芸ホールで落語をはじめとする漫談、切り絵、曲芸などを鑑賞した。様々な伝統文化に触れ、非常に楽しんでいく様子だった。



初めての落語でしたが、素晴らしいものだと感じました。落語のような日本の伝統芸能をもっと体験し、そしてより多くの方に知ってもらいたいです。
(一〇三 小森 大志)

私は今回の芸術鑑賞で初めて落語を見ました。落語を聞いてみると、いつの間にか語り手の世界に入り込んでしまいました。大勢の人の前で話すのはとても難しいのにも関わらず、聞いている側が夢中になっってしまうような話をすることは、すごいと思いました。また、話の順序がきれいでわかりやすく、聞いていて楽しかったです。

落語鑑賞

最初は全員で『あわてんぼうのサンタクロース』を歌い、次は先生たちの出し物、ブラックシアターです。今年度は五味太郎さん原作の絵本『まじかのおくりもの』をアレンジして上演しました。子どもたちは薄暗い部屋の中で、明るく映し出される物語に引き込まれていました。その後、『きよしこの夜』のハンドベルと共にドアが開き、サンタクロースのおじいさんの入場です。子どもたちはサンタさんからプレゼントをもらい、目をキラキラさせていました。最後には、みんなでケーキをいただき、楽しいクリスマス会は終了です。

さて、園児の家にも、サンタクロースがプレゼントを持って来てくれるといいですね。良いお年をお迎えください。

本庄青葉幼稚園だより
園長 荒木君代

お弁当甲子園 優秀賞!!

鎌倉女子大学主催のお弁当甲子園が行われた。全国より四四二点の応募があり、厳正なる審査を経て、本校の生徒の作品が優秀賞に輝いた。

食品加工に携わる夢を叶えるため、そして苦手とする料理を克服するために応募しました。食育や薬膳の本を読み、日本料理に大切な五法、五味、五色、五適、五覚を考えました。印象に残る外観に



- 「NRI 学生小論文コンテスト」入選者
- 奨励賞 『日本発、世界大改革』 2の2 為谷 磨玲
- 「税に関する高校生の作文」入選者
- 埼玉県租税教育推進協議会長賞 3の6 小高 瑞希
 - 『助け合い、努力する国日本』
 - 本庄税務署長賞 3の11 半田 修一
 - 『身近に感じた税金の重み』
 - 本庄市児玉地区租税教育推進協議会長賞 3の3 萩原 夏帆
 - 『税に支えられて生きている』
 - 本庄市児玉郡税務団体協議会長賞 3の3 小曾根 崇太
 - 『税金の大切さ』

